

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：中小企業振興費

事業名【新】学生向け情報産業就業推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

働部 産業デジタル推進課 企画連携係 電話番号：058-272-1111(内3725)

E-mail：c11356@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 6,270 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	6,270	5,016	0	0	0	0	0	0	1,254
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

情報関連の企業は、学生から人気が高い就職先であり、ソフトピアジャパンを中心に県内でも数多く立地しているが、他業種と同様に人材確保に苦慮している。

よって、県内の情報関連企業への学生の採用が進むよう、大学等に働きかけるとともに、企業には、テレワーク、副業、休暇制度などの多様な働き方に対応できる労働環境の見直しによる魅力向上を促し、より多くの I T 人材が県内に集まるよう情報関連の企業を P R する。

(2) 事業内容

(ア) 企業へのヒアリングと P R ガイドブックの作成

情報産業の企業は、様々な働き方が可能であることから、他業種のモデルとなるべく労働環境の見直しをしてもらうよう経営者にヒアリングするとともに、多様な働き方の情報を記載した企業が掲載されたガイドブックを作成する。

(イ) 学生への企業説明会の開催

情報産業は、理系学生の就職先と思われているが、実は文系学生からも人気のため、文系のある愛知県や岐阜県の大学等を中心に訪問し、ガイドブックを配布するとともに、これから就職を考える 1 ～ 3 年生をターゲットに、企業説明会を開催する。

(ウ) 情報産業の魅力発信

学生自らが、企業にインタビューし、SNS でその魅力を発信するとともに、情報産業で働いている卒業生にも、自社の企業の魅力を伝える情報発信を行う。

（３）県負担・補助率の考え方

岐阜県が推進する県内企業のDX推進や働いてもらい方改革を図るために要する費用であり、県がこれに必要な経費を負担する。

（４）類似事業の有無

無

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	6,270	ガイドブック作成、企業説明会開催、情報発信事業
合計	6,270	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

＜岐阜県経済・雇用再生戦略＞

２ 「DX」・「GX」推進加速化プロジェクト、３ 人材確保・雇用対策プロジェクト

＜岐阜県デジタルトランスフォーメーション推進計画＞

Ⅲ 各分野のDX

10 産業・労働

◎「ソフトピアジャパン」等との一体的な支援により、県内産業のDXを推進

（２）国・他県の状況

厚生労働省では、地域活性化雇用創造プロジェクトとして、魅力ある雇用機会の確保や企業ニーズにあった人材育成、就職促進等の地域の課題に対応するための都道府県の取組を支援している。（補助率4/5）

（３）後年度の財政負担

大学等への情報関連の企業の周知と浸透を図るため３年程度事業を継続して実施する。

事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
県内の情報産業の企業にてIT人材の確保が進むこと。
県内学生の県内就職が増えること。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R8年度 目標	R9年度 目標	R10年度 目標	終期目標 (R10年度)	達成率
①説明会 参加学生数 【補助金KPI】		30人	30人	30人	累計 90人	

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和6年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標： 実績： 達成率： %</p>
令和7年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標： 実績： 達成率： %</p>
令和8年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標： 実績： 達成率： %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3: 増加している 2: 横ばい 1: 減少している 0: ほとんどない	
(評価) 3	情報関連の企業は、学生からも人気が高い業種であり、PRを行うことで、学生の県内就職が期待できる。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3: 期待以上の成果あり 2: 期待どおりの成果あり 1: 期待どおりの成果が得られていない 0: ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2: 上がっている 1: 横ばい 0: 下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 県内大学での県内就職の割合が低いため、情報関連の企業においてもPRが必要である。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 令和8年度より、情報関連の企業への学生の就職を推進すべく新たに事業を実施する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課 組み合わせる理由 や期待する効果 など	
【〇〇課】	